

## 会報 95号

発行 一般社団法人静岡県介護福祉士会

## Bon くらーじゅ



(フランス語でがんばってね。いい働きをしてねの意)

## 令和4年度 定時総会開かれる

開催日/令和4年5月15日(日) 会場/静岡商工会議所

3年振りに対面による定時総会が静岡商工会議所で開催されました。第1号議案「令和3年度事業報告」第2号議案「令和3年度事業決算及び監査報告」第3号議案「役員改選」第4号議案「令和4年度事業計画」第5号議案「令和4年度事業予算」と各議案審議され、可決されましたのでここに報告します。代議員からブロック研修もオンライン研修が主流となり、研修の参加費が一律無料になったことを受け、会員と非会員の差別化、また、介護職及び県民へ会の存在を訴えるためにも職能団体としての強いメッセージ性を持つことが必要ではないか等提案がありました。及川ゆりこ氏が会長職を退任され、組織も新体制となりました。



更に、会員の声を結集し会の組織強化に結び付けられるよう、今後も会員皆様のご協力をお願いします。(総会資料はホームページで閲覧できます)

## 「互いに尊重し、助け合い、学び合える」場づくり



私は、令和4年度第14回定時総会において、会長職を拝命致しました。歴史と伝統ある会の会長を務めさせて頂くことは、大変光栄なことです。副会長を二年余り努めさせて頂きましたが、今回は会の代表者として更に責任感を持って、事業に取り組んでいく所存です。静岡県介護福祉士会の理念『良質な介護を提供するための自己研鑽に努めること』『介護福祉士と介護に携わる人たちの環境改善に努めること』を柱に、様々な活動を行ってまいります。

【介護】は、人としての関わりやコミュニケーションが非常に重要です。正解を求めることなく、相手の立場を理解し、相手の声に率直に耳を傾け、信頼と愛情を持って接することができる人、そんな人間性の下に初めて専門性が生きてくると思います。当会では、介護に携わる者と【向き合う】関係から【並ぶ】関係へ、一緒に泣いたり笑ったり【ともに】共有体験できる仲間づくりを目指しています。

また、学ぶことは、謙虚に自分と向き合い、自ら夢と希望を育てることであり、自分の人生をどうするか、志と目標を持って、そこに向かって努力するプロセスが重要になります。限りある生命、時間を大事にして何を学ぶか、どのように学ぶか、自らの個性をいかにして考えるかが尊いと思います。この【互いに尊重し合い助け合い、学び合える】機会を会で積極的に提供していきます。折しも介護福祉を学ぶ学生と「職能団体と資質向上の責務」をテーマにしたディスカッションに参加する機会を頂きました。「職能団体」に関する内容を講義に盛り込み、学びの中で、その在り方を考えていくという画期的な企画に、ワクワクした気持ちで参加しました。学生の前向きな発言は想像を超え、介護福祉士の資質の向上は、自身の力を高めるだけでなく、仲間と共に研鑽し、社会の変化やニーズに対応していくための結束力であると考えている学生の想い等に触れ、本当に頼もしく感じた一日でした。

介護福祉士や介護職員等における実践の場での活躍を支えるため、より良い研修の在り方、様々な課題解決に向けた研修等の提案を行い、介護に携わる者の心と体のバランスや職場環境の問題などに寄り添い、やりがいや誇りをもって働き続けられるよう、活動を行っていきます。今後とも、多くの皆さま方のご支援、ご協力よろしく申し上げます。

一般社団法人 静岡県介護福祉士会 会長 水野 公智

## 新理事紹介

※令和4・5年度の新規の三役、理事の方のみ紹介します。



静岡県介護福祉士会の会員になって、多くを学び、たくさんのお出逢いを経験させて頂きました。ファーストステップ研修受講が介護福祉士としての役割を考える機会となり、学びたい気持ちを大きくした研修でもありました。色々な研修を受講する度に「お出逢いがあり、一緒に介護について語る仲間ができて、その存在がいつの間にか心地良い居場所になり、仕事の疲れも忘れるくらい語りあったこともあります。色々な視点から介護を考えたり、私たちの思いを言葉にしたりと介護の本質を探究することの楽しさを知り、仕事を続けるうえで介護福祉士会が必要な存在となっていました。色々な学びや出逢いにつなげて頂いたことに感謝をして、お役に立てることがあれば協力したいと考え、この度、副会長という大役を担うことを決意しました。

私の仕事人生を全うするには、介護福祉士会への恩返しも含まなければ終われないという気持ちで挑み、皆様のお力をお借りしながら静岡県介護福祉士会を盛り上げられるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

副会長 増田 知佐子



果たして介護職の処遇は改善されているでしょうか？まだまだ、過酷な勤務体制になっている職場が多いと感じています。愚痴や我慢しているだけでは何も変わりません。自分たちの立場を守り改善するには同志の力が必要です。そして、現場の声を社会に認知してもらうために、職能団体を大きくして発信力を強くすることだと思います。介護職の拠り所となる活動や仲間づくりをしていければと考えています。

富士・富士宮ブロック担当 佐野 真弓



高齢化が進む中、住み慣れた地域で暮らし続けるために介護福祉士としてどうあればいいのか、また、介護福祉士という専門職団体の活動を多くの方に知ってもらえるよう、活動を通して、理事として貢献できるよう精一杯頑張っていきたいと思っています。

駿東・田方ブロック担当 宇佐美 真澄



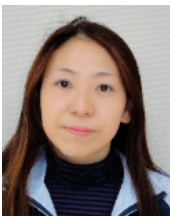
介護福祉士会の活動を通し、多くの会員・介護職員との出会い、多職種との連携の中での学びも多く、人のつながりもその一つです。今だからこそ会員との「つながり」を大切にしていきたい。また会の未来に向けて「介護の魅力」「介護の専門性」を発信し介護を職とする中間を増やし支えていける会にしていきたいです。

熱海・伊東ブロック担当 須田 和枝



現在勤めている特別養護老人ホーム白扇閣(清水区)が私の介護のスタートで、もう17年になります。もともとは畜産学専攻で牧場でも働き、家畜人工授精師という特殊な資格も持っています。会の活動としてはひとりの介護福祉士が地域の至る所で「介護福祉士の〇〇さんに相談しよう」と声があがる身近な存在として、多くの方に頼られ活躍できるよう広められたらと思います。

静岡市介護福祉士会担当 鍋田 弥寿人



『仲間がいてこそ成長できる！』数年前受講した研修の際に伝えられた言葉です。『介護』とは字のごとく「人を守り支える」仕事です。人を守る、私たちがまた仲間に支えられています。手探りの状態ではありますが、一緒に悩み、ともに考え、『専門職としての成長』を歩み進める皆様の力になれるよう微力を尽くしていきます。

志太・榛原ブロック担当 佐藤 葉子



中東遠ブロックにおいて研修会や会員の交流会など顔の見える、何でも話し合える場所作りをしたいと思っています。ブロック長はじめ、研修内容の企画・運営のお手伝いをしてくださる方も少ない状況です。一緒に活動に参加して下さる方を募っています。自身のステップアップもかねて、一緒に中東遠ブロックを盛り上げていきましょう！

中東遠ブロック担当 杉本 洋子

## ブロック長の抱負

※中東遠ブロックは理事兼務の為、割愛します。



## □富士・富士宮ブロック長 遠藤 勉

「初心忘るべからず」をモットーに、担当理事やブロックの会員とコミュニケーションを取りながら、富士・富士宮ブロックの介護に携わる方々へ、研修や交流会を通して情報発信していきたい。

## □駿東・田方ブロック長 内田 清敬

顔の見える交流会を通じ、立場や役職関係なく、同じ介護職として悩みや相談ごと、知識や情報を共有できる場をつくっていききたいです。小さな活動から組織や地域が少しずつ変わっていければ良いと考えています。

## □熱海・伊東ブロック長 長岡 紀澄

熱海・伊東ブロックではオンライン研修を中心に、「ALL 静岡」ブロックの枠を越えて一緒に勉強し合える仕組みづくりを考え、年4回を計画しています。皆様のご参加をお待ちしています。

## □下田・賀茂ブロック長 吉田 美代子

専門職として今さら聞けない介護技術や、言えない職場環境でひとり悩んでいませんか？久しぶりに介護福祉会の仲間とあって、思いっきり話して見ませんか？笑顔の介護をするために。

## □静岡市介護福祉士会ブロック長 山田 英和

会員の皆様に少しでも多く情報や交流が持てる機会を増やせるよう、現在準備中です。また、地域での社会貢献の活動のネットワーク作りも今後企画していきますので、皆様ホームページのご確認を今後共々よろしくお願い致します。

## □志太榛原ブロック長 大橋 一良

感染症に負けず、今の介護福祉士が求める研修を計画していきたいと思えます。学びと共に、地域の介護福祉士がつながるコミュニティを作り、苦勞とやりがいを共有できる仲間を作っていきます。

## □浜松ブロック長 磯部 利之

コロナ禍で、今まで出来ていた対面の活動に制約ができ、新たにオンラインでの活動が中心になっています。主催者も参加者も回を重ねるごとに慣れてきて、多くの方が研修に参加頂いています。引き続き感染状況に応じた活動をしていきますので、ご協力お願いします。

## フレッシュ会員さんに聞きました！

生涯研修入門研修、基本研修を受講中の皆さまの声です！



## Q1. 入会のきっかけは

- ・介護福祉士としてさらに多くのこと学ぶため
- ・研修を通して情報共有や仲間を作るため
- ・上司、先輩、会社の勧め
- ・より良いケアができるようになるため
- ・研修の受講料が安い

## Q2. 会の活用の仕方又は会に期待すること

- ・自身のスキルアップのため
- ・受講料を安くしてほしい
- ・新しい情報の発信と現場の声を届けて欲しい
- ・介護福祉士の地位向上と確立のため
- ・資格取得後の目標がなく、もう少し手の届きやすい資格があると良い



## Q3. 介護福祉士としての目標

- ・この介護福祉士さんなら、何でもお任せできると、利用者さんやスタッフから思われる存在になりたい。
- ・今は、目の前のことに集中し、いろんなことを吸収し覚えていきたい。
- ・自分にしかないストレンクス\*を持つ介護福祉士になりたい。(※ストレンクスとは本来有する力や強さ、才能をいう)
- ・認定介護福祉士になりたい。

## 新入会員の加入状況

(ブロック別)(令和4年4月1日～6月末)44名

富士・富士宮ブロック	7名	駿東・田方ブロック	13名	熱海・伊東ブロック	2名	静岡市介護福祉士会	13名
志太・榛原ブロック	5名	中東遠ブロック	3名	浜松ブロック	12名		



# 生涯研修にチャレンジ!

# 認定介護福祉士

あなたも

目指しませんか!

## 静岡県では32名の認定介護福祉士が誕生しました!

これからの介護福祉現場・地域では介護サービスの提供だけではなく多職種との連携や資質の向上の責務が課されるなど幅広い役割を担う介護福祉士が求められています。介護福祉士のリーダー的な存在となる認定介護福祉士を養成するために生涯研修制度にチャレンジしませんか。当会の認定介護福祉士養成研修を受講される方は、介護福祉士基本研修・ファーストステップ研修の受講は必須となります。

## これからの介護実践に向けて

### ～ファーストステップ研修を修了して～

令和3年度のファーストステップ研修はコロナ禍であった為、対面とZOOMでの受講でした。私自身ZOOM研修は初めてで少々不安もありましたが、事務局の方や講師の方々、そして研修メンバーの皆さんに助けを借りながら進める事が出来ました。養成校から介護福祉士を取得し16年、自身のスキルアップをする為にはどうしたらよいかを考えていた所、自職場の上司からファーストステップ研修を知り受講しました。本研修を受けた事で、今までの自分は、利用者の情報収集を書類から行う事が多く、利用者自身を見ていなかった事に気づかされました。利用者とのコミュニケーションを図り、関係性を構築し、情報収集を行う事の大切さ、そして、利用者の隠されたニーズをくみ取る事の重要性を理解出来ました。更に、利用者に対しての気づきを養う事、利用者の思いを聞く事、寄り添う事はどういう事なのかを考える事が出来、自分や自職場を振り返る良い機会になりました。

今後の展望として、ひとり一人の利用者に、自分らしい生活をしてもらえる様、介護実践をしたいと思います。その為には、普段から自分の意見を発信し、共感できる仲間を作り、行動できるようにしていきたいと考えています。

富士・富士宮ブロック 田副 陽平

## 「介護福祉の道を切り拓く」

### ～認定介護福祉士養成研修を修了して～

私の受講動機は「介護福祉の仕事が大好きだから」というものでした。もっと利用者に喜んでもらうために…と、ワクワクしながら受講申込書を書いたのを昨日のこのように覚えています。平成30年11月から令和4年4月まで、全22科目を修了するのは本当に大変でした。でも、それ以上に得るものが多く、私の職務経験のなかで最も濃密な期間でした。何が大変かという、私は科目が進み、学べば学ぶほど自分の小ささを実感しました。月に何度も「試験に合格できない…。課題が間に合わない…。」という夢を見る程です(笑)そんな私を引っ張り上げてくれたのは、講師の方々の熱意や愛情と事務局の温かい応援、共に学ぶ仲間の存在です。学び、実践し、対話と省察を繰り返すことで、自分の長所やチームの力の大きさにも気付くことができるようになりました。仲間から力を与えてもらうばかりではなく、仲間の成長に貢献したい!と更に努力を重ねることができました。もっともっと介護福祉の仕事が大好きで大切になりました。研修を修了して、私たちは「さあ、始まるぞ!」という気持ちでいます。認定介護福祉士として自分がどう歩めるのか、研修受講前よりもワクワクしています。私は、介護福祉の魅力の発信や介護福祉士の活躍をサポートできるように活動していきたいと考えています。以前、講師の野田先生が私たちに「介護福祉の道を切り拓くブルドーザーになれ!」とメッセージを下さいました。私はまだまだ小さなブルドーザーです。でも、この研修で知識や感性を磨いていく術を学び、心強い仲間を得ることができました。共に手を携えながら、一步一步、地域での介護福祉の道を切り拓いていきたいと思っています。

駿東・田方ブロック 石代 由子

知ってるようで知らない

## 介護・福祉 サービス

### 「障がい者入所施設」



障害福祉サービスは、介護の支援を受ける場合には「介護給付」、訓練等の支援を受ける場合は「訓練等給付」に位置付けられ、施設入所支援は「介護給付」に位置付けられています。サービスを利用する際には、利用者ひとり一人の個別支援計画が作成され、例えば、常時介護が必要な方は、日中活動の生活介護と、住まいの場として施設入所支援を組み合わせる利用することができます。以前は、「知的障害者更生施設」と言われていましたが、障害者自立支援法により「障害者支援施設」と言われるようになり、現在は、障害者総合支援法を根拠法として設置・運営されています。私は、知的障がい者入所施設に勤めています。ご利用者は自閉症の方がほとんどです。施設には18歳以上で障害支援区分4(特養でいう介護3)以上、50歳以上なら区分3以上の方が入所することができます。施設によっては、入所施設内で日中活動を設けているところもありますが、私の勤めている施設では、職住分離をしており、朝夕、夜間は入所施設で過ごし、昼間は別の建物で日中活動(生活介護)をしています。支援者は、生活支援員(特養でいう介護職員)と言ひ、食事や入浴、排泄介助等の生活全般に関する他の、健康管理や金銭管理、利用者の相談対応も合わせて担っています。

中東遠ブロック 鈴木 健太



## ワンポイント介護

### 食事の介護

#### ～食事は生活を送る上での原動力～

食事は楽しみの一つです。食事をする上で重要なことは食べる姿勢で、「正しく座る」ことで咀嚼や嚥下、食欲にも大きく影響します。可能な限り椅子に座って食べられるように支援しましょう。「美味しく食べる」工夫を支援するために利用者一人ひとりのこれまでの食生活を尊重したその人らしい支援をするようにしましょう。また、環境を整え福祉用具等を活用し、自分の力で食べることができるよう工夫しましょう。

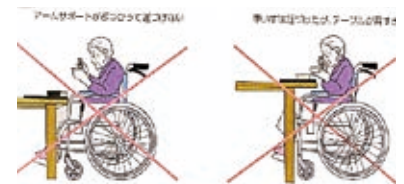
#### 【食事をするときの基本姿勢】

- ・基本は椅子に移乗します。・椅子に深く腰掛けます。
  - ・足の裏は床にしっかりつけます。
  - ・テーブルと身体の間にごぶし一つ程度のスペースをあけます。
  - ・軽く前傾し顎を軽く引きまします。
  - ・テーブルの高度はおへそ当たりの高度が適当です。
- ※車いすの方が良い姿勢を取りやすい場合、車いすを使用します。

#### 【食事の姿勢のポイント】

座位姿勢で肩と腰が水平になっているか、肘を曲げた時90度になっているか手首が回転できるか確認しましょう。(食べる時に使っているのは肘と手首です)

麻痺がある人は麻痺側に傾いてしまうため、骨盤の位置と腋窩を補正し肩と腰が水平になるようにすると飲み込みやすくなります。



引用：財団法人テクノエイド 福祉用具支援論

## 福祉レクリエーション

### 「ボッチャ」

#### ～子どもから大人まで全世代で楽しめます！～



『ボッチャ』はイタリア語で「ボール」を意味し東京パラリンピックの競技でも採用されたスポーツで日本は強豪国。元々は重度脳性麻痺者の方や同程度の障がい者のために考案されたスポーツです。ボッチャはボッチャボールと呼ばれる玉があればできます。赤6個・青6個・白1個(ジャックボールと呼ばれる)計13個のボッチャボールがあれば試合ができます。赤と青チームに分かれ6球ずつ投げ、どちらがより白のジャックボールの近くに自身のボールを投げられたかを競います。投球したボールを正確に目標に近づけられるか、または、相手のボールを利用して自分のボールを有利にするか、テクニックが光る競技です。6球投げ終わった後に、破れた相手のボールを結んだ半径内にある勝利側の球の数1個につき1点が得点として加算されます。正式なボールがなくても新聞紙を丸めてボールの代わりにして福祉施設でも手軽に楽しむことができます。

駿東・田方ブロック 倉島 修

# 職場 賛助会員 紹介

## 社会福祉法人清承会 特別養護老人ホーム 白扇閣

〒424-0201 静岡県静岡市清水区承元寺町1341番地  
TEL054-369-2258 FAX054-369-2259

静岡市清水区にあります特別養護老人ホーム白扇閣です。白扇閣は仕事だけでなく、プライベートも充実出来るよう環境を整え生涯働ける職場です。取り組みとして「働きやすい環境づくり」「個人負担“ゼロ”スキルアップ全額補助制度」「職員を大切に離職者ゼロを目指す」を掲げています。ぜひ下記QRコードから動画を参照して下さい。

コロナ禍で親睦会イベントが自粛になり、職員同士の交流が減っている為、白扇閣のチームとしてお互いを分かり合えるよう、職員個人プロフィールを作成しグループウェアサイボウズにて共有しています。法人内(白扇閣、養護老人ホーム清水松風荘、障がい福祉部門のはーとぼるここみ)の職員がZoomにて交流し互いの取り組みを知るように努めています。企業、団体で多くのコーチング研修をされている講師による合同研修も行っています。地域貢献にも積極的に取り組み、団体、機関への出張講演・講座、各種学校への職業講話・職場体験や実習の受入れをしています。

今年度も白扇閣は介護福祉士会との連携を深め、協力体制に努めていきたいと考えています。白扇閣は職員の介護福祉士会加入率が90%と非常に高く、会員が多数います。施設内の資格取得者には更に入会を勧め、会の主催する研修等、積極的に参加していきたいです。今後も白扇閣を宜しくお願い致します。



R4採用法人新人研修(松風荘屋上にて)



ここみテニスコートにて



主任・所属長コーチング研修

★白扇閣をもっと知りたいなら下記QRコードから覗いてください★



白扇閣HP



採用HP



Facebook



Instagram



Twitter



ICT活用



介護職員の1日



スタッフの日常

## 組織強化委員会からのお知らせ

「介護職員のための悩み相談窓口」電話相談がいよいよスタートします！  
スタッフも準備万端！悩みを持つ介護職員の方々に周知して下さい。

「オンライン交流会」今年もやります！9月16日(金)スタート！  
資格取得後の生涯研修を学ぶこと！時には真面目に語り合いませんか！

※研修・講習会情報はホームページ (<http://shizukai.jp>) でも案内しています。



## 事務局からのお知らせ

- ①入会時の申込書にメールアドレスを記載して頂いた会員さまには、今後メールにより、各種情報を送信していく予定です。
- ②令和4年度の会費更新はお済ですか。引き落としの方確認をお願いします。また、コンビニ支払いの方、お手元に届いていますので、早めにお振込み下さい。会員情報(住所、氏名、勤務先等)に変更のある方は、会員管理システムケアウエルのマイページから変更手続きができるようになりました！

## 編集後記



県内にもヤングケアラー当事者の相談窓口が開設されるとのこと。大人に代わり日常的に家事や家族の世話をする子どもたちが小学校5年生から高校3年生まで、22人にひとりの割合にいるという。心開いて相談できる時間になることを願って・・・!! 8月から当会でも「悩み相談窓口」が開設されます！日頃の現場で感じている思いやストレスを「吐いて」スッキリしましょう！ 勇気を持って電話してみてください。きっと・・・ココロも体も軽くなりますよ！

事務局 平野 美智子

